鳩間島の棒術

１．豊年祭とウタキ

なおこさんは友達のたけ吉くんと一緒に、鳩間島の棒術を見に、豊年祭に来ました。豊年祭は、３日間あります。二日目に棒術やその他の芸能、ハーレーが奉納されます。その日の朝は、御獄（ウタキ）においのりをしにいきます。

鳩間島には、５つの御獄（ウタキ）があります。下の写真は、その中の一つのニシドウウガンという場所です。なおこさんとたけ吉くんはニシドウウガンに行ってきました。

なおこ：ここがニシドウウガンね。鳩間島のウタキね。はじめて、ウタキにきたけど、木に囲まれていて、自然の中にとけ込んだみたいだわ。でも御獄（ウタキ）ってなに？

たけ吉：御獄というのは、その村の守り神がまつられている場所なんだって、村の聖地でもあるわけさ。だから、入っては行けない場所もあるみたいだよ。

ニシドウウガンにいるおじいさんに話を聞いてみました。

鳩間島には、友利（ともり）ウガン、マエドマリウガン、ピナイウガン、アラカーウガン、ニシドウウガンの５つのウガンがあるヨー。昔はね、各ウガンに、ツカサ（神様へお祈りをする女性）がいたサー。合計で５人いたんだが、今年は、友利ウガンの一人しかいないサー。そしてね、鳩間島の人々は５つのなかのどちらかのウガンに所属しているわけよ。私の場合は、ニシドウウガンに所属しているよ。だから、豊年祭の日は、ここで歌を歌ったり、お祈りをして、最後に友利ウガンに集まりにいくんだよ。ウガンの中でも友利ウガンが一番神聖（しんせい）なウガンの場所サー。

＊調べてみよう

皆さんの住んでいる周りにも御獄がありますか？ウタキについて、近くに住んでいるお年寄りから話を聞いて、次のことを調べてみましょう。

①どんな場所にあるの？
②どんな時にいくの？
③何をしにいくの？
④どんな神様がいるの？
⑤私たちがいっても大丈夫な場所？

ニシドウウガンから、友利ウガンへ移動している様子です。

ピナイウガン、マエドマリウガン、アラカーウガン、ニシドウウガンの人々が、友利ウガンに集まってきました。

友利ウガンのツカサが、４つのウガンから来た人たちを迎え入れている様子です。

　それぞれのウガンの人々に御神酒（オミキ）をふるまっています。
頭に巻いているのは、マーニ（クロツグ）という葉っぱです。これをカンシバといって、頭に巻きます。

　今から、奉納芸能（ほうのうげいのう）を行うサンシキに移動します。移動するときは、三線やたいこを鳴らし、歌を歌いながら移動します。白いふくそうをしているおばあさんが、司（ツカサ）です。

やってみよう

さて、なおこさんとたけ吉君は、朝、ニシドウウガンにいましたね。ニシドウウガンの神さまは、どのような道のりで、サンシキまでいったのでしょうか。なおこさんとたけ吉君の朝のようすから神さまの道のりを探りましょう！

①まず、一番さいしょにニシドウウガンからどこへ行きましたか？

（　　）

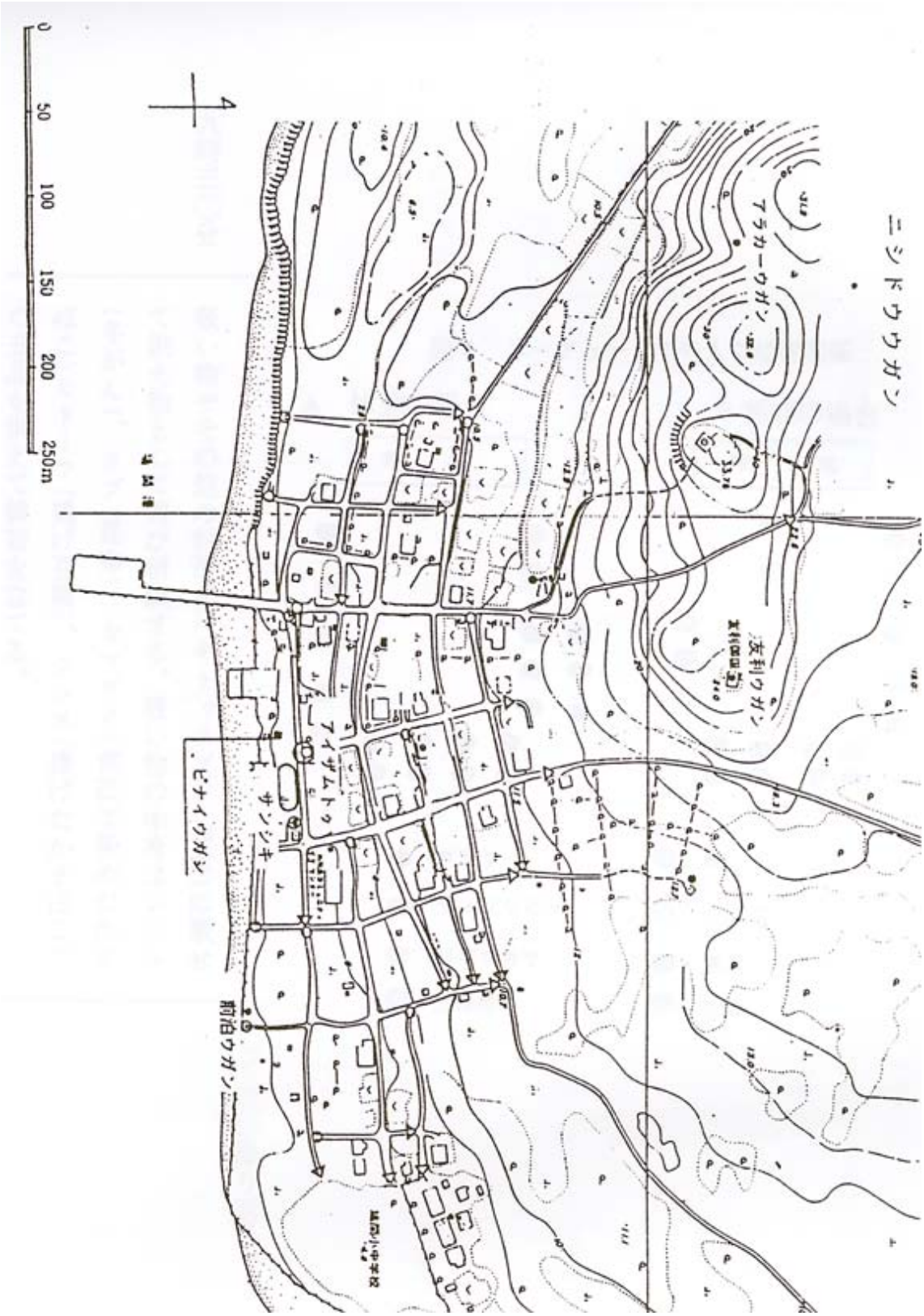
②さいごは、どこへいきますか？　（　　）

次のページの鳩間島の地図にニシドウウガンの神さまがとおるサンシキまでの道のりを赤鉛筆でたどってみよう！他のウタキの神さまの道のりも同じようにたどってみよう！その前にまずは、地図の中からサンシキ、ニシドウウガン、友利ウガン、アラカーウガン、マエドマリウガン、ピナイウガンをさがして、しるしをつけてみよう！

鳩間島のウタキの神さまがぜんいんあつまる場所が２つあります。それはどことどこですか？

（　　と　　）

地図にウタキの神さまのサンシキまでの道のりを書いて、気づいたこと、ふしぎに思ったこと、ぎもんに思ったことを書いてみよう！



『日本民俗学第１９７号』大山了己著「音楽から見た八重山の海辺社会鳩間島のプーリを中心に」三協社１９９４年 pp68 より引用

２．棒術を奉納（ほうのう）する

サンシキ（芸能をひろうする場所）に移動して、ツカサのおばあさんたちは、席につきました。ツカサの前で芸能がおこなわれます。

なおこ：ツカサのおばあさんたちがウタキへお祈りをしてから棒術などの奉納芸能が始まるんだね。踊りや棒術などの奉納芸能は、西と東に分かれて神様へ祈りをこめて演じられるみたいだよ。サンシキには、鳩間島のウタキの神さまがあつまる場所なんだって。

たけ吉：そうなんだ。ツカサを前にして奉納芸能をするんだね。ツカサのおばあさんはえらい人なんだね。ウタキの守り神とツカサってどういう関係なんだろうね。

＊調べてみよう

ウタキの神様とツカサ（カミンチュの女性、おばあさんのこと）とは、どのような関係があるのかを地域のお年寄りに聞いて、調べてみよう。

①私たちの地域にはツカサは何人いるの？
②ツカサは、いくつの年の人がなるの？
③女の人以外は、なれないの？
④どういうふうにして決めるの？
⑤どういうお仕事をするの？
⑥ウタキの神様とツカサのおばあさんはどういう関係なの？

奉納される鳩間島の棒術のようす

タイコマー（かざりだいこ）

柵（さく）棒

振り棒

笠（かさ）棒

このほかにも、六尺棒（六尺棒と柵棒の打ち合い）などがありました。棒術が奉納されているときは、ドラが打ち鳴らされ、笛の音色が聞こえます。

なおこ：ドラが鳴りひびいていて、また、ふえのねいろも聞こえて棒術のふんいきをもりあげているねー。

たけ吉：すごい！見ていると、けがしないかドキドキするねー！気づいた？西と東ではふえのねいろがちがう感じがしたけど。

なおこ：え！そうなの？注意して聞いていなかったからわからなかったわ。

おじさんの話

棒術には、ドラとふえは欠かせないサー。練習では、ちゃんとふえを練習する人もいるんだよ。ふえの音色を聞いて、それから棒術が始まるんだよ。棒術をする人は、ちゃんとふえのねいろを聞いていないといけないわけサー。またね、ふえのねいろは、西と東ではちがうんだよ。西は女性的なねいろ、東は男性的なねいろだといわれているよ。

写真を見てみよう

①棒術でつかう棒は六尺棒（ろくしゃくぼう）といいます。さて、一尺はどれくらいの長さでしょうか。

一尺は、やく（　　）センチ

②棒術を演武している写真を見て下さい。棒術では、使う道具は棒だけではありません。他にどのような道具を使っているでしょう。

タイコマーでは（　　）
振り棒では（　　）
柵棒では（　　）
笠棒では（　　）

おじさんの話

豊年祭で奉納される棒術は、悪いものを払いのけるという意味があるんだよ。今年の豊作のかんしゃの気持ちをこめて、そして、次の年の世果報（方言でユガフ）を願い、祈りをこめて演武するんだよ。

世果報とは、豊年満作（ほうねんまんさく）や五穀豊穣（ごこくほうじょう）、子孫繁栄（しそんはんえい）の意味のことだよ。だから、いっしょうけん命にすばらしい棒術をしようとがんばったんだよ。

でも、さいきんは、観光客がたくさんきてくれるようにとがんばっている気がするんだ。もちろん、観光客の人がたくさん来てくれるのはうれしいけれど、もっとむかしみたいに神さまへ祈る気持ちもわすれずに強く持っていてほしいと思うよ。

ことばの意味を調べてみよう

①豊年満作（ほうねんまんさく）とは？

（　　）

②五穀豊穣（ごこくほうじょう）とは？

（　　）

③子孫繁栄（しそんはんえい）とは？

（　　）

考えてみよう

①棒術は、むかしからだれのために奉納する芸能だと考えますか。

あ、鳩間島のウタキの神さま

い、お釈迦さま

う、観光客

②すばらしい芸能を奉納することによって、むかしの人たちは、鳩間島に神さまからどんなことをあたえてくれると考えたと思いますか。

あ、観光客がたくさん来ること

い、来年の豊作、大漁

う、極楽（ごくらく）へいける

③むかしの人たちは、豊年祭などの祭りで、神さまにどんなことをおねがいしたのでしょうか？友だちと話し合ってみましょう。

村がどうなってほしいと思ったのかな？

（　　）

村にすむ人びとがどうなってほしいと思ったのかな？

（　　）

他にもおねがいしたことはどんなことだろう？

（　　）

おじさんの話

むかしの鳩間島は、西村と東村にわかれていたんだよ。それで、あいての村には豊年祭の時に演武する棒術、柵棒なのか、六尺棒なのかとかを教えなかったサー。だから、豊年祭までのお楽しみだったサー。おじさんは、東村にすんでいたわけサー。西村がにこっそりなんの棒術の練習をしているか見に行ったら、門番が立っていて、絶対教えないようにしていたサー。

豊年祭の楽しみは、どんな棒術が出てくるか、どんな踊りが出てくるかだったサー。また、ハーレーや綱引きもあったりして、それもまた、楽しみしていたサー。見るのも楽しいし、また、みんなで、綱を引いたりするのはとっても楽しいサー。今でも祭りはワクワクして、楽しいもんだヨー。

考えてみよう

豊年祭などの祭りで、どんなことを楽しみにしていますか？

（　　）

あなたがワクワクすることはどんなことですか？また、どんなことが楽しいですか？

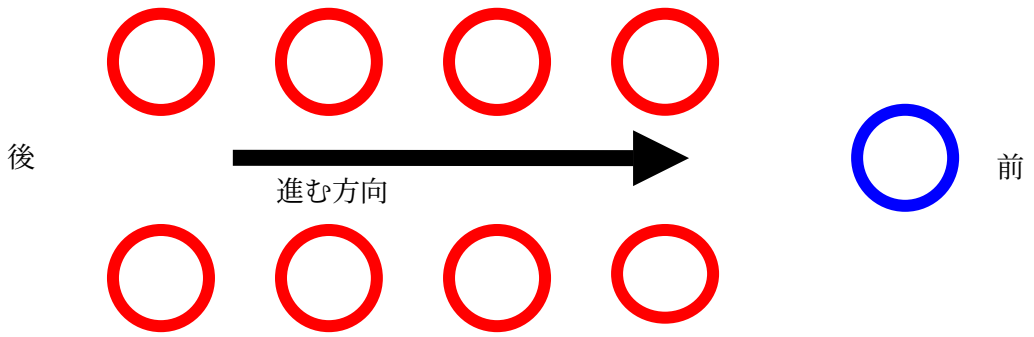
（　　）

３．棒術を演武するために大切なこと

なおこ：棒術は、西も東もまずタイコマー（かざりだいこ）から始まるんだね。そして、それから棒術が奉納されるんだ。タイコマーってみんなで列になって太鼓をたたいてはくりょくがあるね。また、一番前で棒を演武している人もいさましくてかっこいい！

たけ吉：鳩間島のおおぜいで演武する棒と二人組になって演武する棒があるんだね。振り棒や笠棒などは、おたがいにかけ声をかけって打ち合っていたね。ちゃんとした棒術をするために、それぞれの人たちは、どんなことに気をつけながら演武しているんだろう？

下の図は、タイコマーで人の立つ位置（上から見た図）赤色の〇は太鼓を打つ人。青色の〇は、棒（なぎなた）を演じる人。



考えてみよう

上の図を見ながら考えてみて下さい。タイコマーを演じるとき、太鼓を打つ人の大切なこと、うごきはどんなことだと思いますか。

あ、みんなといきを合わせてたいこをたたくこと い、みんなといきを合わせていっしょにまえに進むこと う、みんなよりめだってたいこをたたくこと え、ユガフを願い、祈りをこめて演武すること お、じぶんのゆめがかなうことをお願いしながら演武すること か、それぞれ、じぶんの歩き方で前に進むこと

他にもどんなことがあると思いますか。友だちと話し合って書いてみましょう！

（　　）

おじさんの話

むかしのタイコマーは、３０人ぐらいの人がれつを作っていて、とても長いれつではくりょくがあったサー。また、それだけではなく、３０人全員のたいこをたたくリズムがきちんとそろっていてとてもすごかったよ。誇りを持って、たいこをたたいてたサー。ぜんいんのたいこがそろって聞こえたときは、気持ちよかったサー。みんなとつながっているという気持ちだったよ。たいこの打ち方でも、西の打ち方、東の打ち方があって、ひと目見てでわかったサー。たいこの打ち方だけじゃなくて、一番前のなぎなたのかたも西と東では違っていたサー。

下の写真は、二人で演武する棒術のようすです。このような棒術は、ちょっとでもいきが合わないとまちがってあいてを棒でたたいてしまい、けがをするそうです。

考えてみよう

おたがいにけがをしないように棒を打ち合うためには、大きな声をおたがいはりあげることが大切だそうです。なぜ大切だと思いますか？

あ、あいてをおどろかせて、動きをにぶくするため い、あいてに、棒を打つということを気付かせるため う、まわりにかっこよくみせるため

他にもあると思う人は友だちと話し合って書いてみましょう！

（　　）

これまでの学習から棒術を演武するために大切なことを書いてみましょう。

タイコマーで大切なこと

（　　）

振り棒などの二人で打ち合う棒で大切なこと

（　　）

全体をとおして大切なこと

（　　）

おじさんのしんぱい

鳩間の棒術のかたが昔とは変わってきていることが心配なことだな。棒術のかたがしっかりしていると年寄りの人は、「あれは、西の棒だな。」とか「このタイコマーは東の形だな。」とか一目でわかるものだったのさ。今では、かたがくずれていて見ても東の棒術か西の棒術かとかわからなくなってしまったよ。

鳩間島で生まれた若い人たちがとっても少なくなっていることが理由かな。「俺は、この鳩間島で生まれ育ったんだ。」という誇りを持っている人が少なくなったてことかねー。だから、文化や芸能を受け継ぐ人が少ないわけさー。また、棒を教える人たちだって少なくなっているんだ。それで、むかしからの鳩間の棒術をうまくしっかりとつたえることが難しくなっているんだ。

練習する時間が少ないことも大きな理由さー。練習することによって、みんなとたいこをたたくリズムを合わせることができたりしたんだよ。昔は１ヶ月前から練習していたんだけど、今では１週間前からで大切なことや大事なことを教えることが難しいんだ。また、そうして、島の人どうしのむすびつきも強くなっていったからちからづよくて、ゆうそうな棒術が演武できたとも思うね。

４．棒術と方言

たけ吉：豊年祭のこと方言では、「プールィ」っていうんだって。棒であいての頭をうつことを鳩間島の方言では「トンボー」、棒をうつことを「シカーシ」、あいての足のこうをうつことを「ヌキ」というんだって。

なおこ：おもしろーい！でも、むかしは、全部方言だったモンね。いろいろ棒術について調べてみたいね。

５．あなたの住む地域にある棒術や棒踊りについて調べてみよう！

①どんなしゅるいの棒術があるの？
②いつ棒術は演武されるの？
③だれが教えているの？
④棒のわざの方言での言い方は？
⑤西と東にわかれて演武するの？わざにちがいはあるの？
⑥棒術を演武するときに大切なこと、動きはどんなこと？

他にも調べてみたいことを書いてみよう！

かんそうを書こう！

写真はすべて下地治人の撮影